

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 (プレイヤーコース)											
インプロヴィゼーション4											
対象	2年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	西川進			実務 経験	有	職種	演奏者、バンドマスター、バンドアレンジ				
授業概要											
<p>いわゆる「プロミュージシャン」になるためには、ただ与えられたお手本をコピーして演奏するだけでは無く、自ら考えたコードフォーム、フレーズなどを瞬間的に発揮した即興演奏、いわゆるインプロヴィゼーションを必要とする。動揺すること無く、即座に感情表現を伴ったインプロヴィゼーションが出来るような技術、精神力を鍛えること。更に「サポートミュージシャン」として必要な知識、技術も合わせて指導し、実践で必ず役に立つスキルを取得してもらう事を目的とする。</p>											
到達目標											
<p>いかなる音楽ジャンル、リズム形態、テンポ、拍子、コード進行であっても、即座に対応できるインプロヴィゼーション力を身につけること。ポップスフィールドの中でコードネームに対して音楽をより良くする適切なバックギンが出来るということを前提としている。自分本位な演奏だけでは無く、いかに周りの音を聴きながら演奏するか、そして良い演奏ができる雰囲気を作るためのコミュニケーション能力も身につけること。総合的、実践的に、「プロミュージシャン」のスキルを身につける事を目標とする。</p>											
授業方法											
<p>インプロヴィゼーション力を身につけるために、各回のテーマに沿った課題曲を時間をかけ何度も演奏をしてもらおう。演奏者主体の授業になりがちだが、演奏者以外の生徒から必ず客観的な感想を募る。必要に応じてレコーディングも実行し、今後の課題を見つけてもらう。回によっては複数の講師による指導も交え、プロのインプロヴィゼーション力を学習してもらおう。ヴォーカリストコースから適時ゲストで歌唱に参加してもらい歌を聞きながら演奏するという実習形態で行っていく。</p>											
成績評価方法											
<p>試験20%試験と課題を総合的に評価する。実技30%毎回の授業時間内でのインプロヴィゼーション力を評価する。成果発表(口頭・実技)30%授業時間内に行われる発表を客観的に見て評価する。平常点20%出席、積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。</p>											
履修上の注意											
<p>キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める(詳しくは、最初の授業で説明)。普段から、音楽を流し聴きにとどめず、仕事の結果としての作品として鑑賞、分析、研究する習慣をつけておくこと。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>											
教科書教材											
西川進オリジナル教材を使う											
回数	授業計画										
第1回	「課題曲6」を初見で演奏できる。同時にサポートミュージシャン育成講義を行う										
第2回	「課題曲6」を予習ありで演奏できる。同時にサポートミュージシャン育成講義を行う										
第3回	決められたコード進行によるインプロヴィゼーションが出来る、同時にサポートミュージシャン育成講義を行う										

インプロヴィゼーション4

第4回	「課題曲7」を初見で演奏できる。同時にサポートミュージシャン育成講義を行う
第5回	「課題曲7」を予習ありで演奏できる。同時にサポートミュージシャン育成講義を行う
第6回	決められたコード進行によるインプロヴィゼーションが出来る、同時にサポートミュージシャン育成講義を行う
第7回	「課題曲8」を初見で演奏できる。同時にサポートミュージシャン育成講義を行う
第8回	「課題曲8」を予習ありで演奏できる。同時にサポートミュージシャン育成講義を行う
第9回	決められたコード進行によるインプロヴィゼーションが出来る、同時にサポートミュージシャン育成講義を行う
第10回	「課題曲9」を初見で演奏できる。同時にサポートミュージシャン育成講義を行う
第11回	「課題曲9」を予習ありで演奏できる。同時にサポートミュージシャン育成講義を行う
第12回	決められたコード進行によるインプロヴィゼーションが出来る、同時にサポートミュージシャン育成講義を行う
第13回	「課題曲10」を初見で演奏できる。同時にサポートミュージシャン育成講義を行う
第14回	「課題曲10」を予習ありで演奏できる。同時にサポートミュージシャン育成講義を行う
第15回	決められたコード進行によるインプロヴィゼーションが出来る、同時にサポートミュージシャン育成講義を行う